

④自己評価・振り返り

STEP4 の個人読みができるようになり、意欲的に読み進められるようにしていくためには、生徒の取組み（努力やがんばり等）を生徒自身が認識できるように工夫することも必要です。例えば、読んだ本について、ページ数等を記録し、読んだ総ページ数を足し上げていく。それらを時間軸に沿ってグラフにして、その伸びを視覚的に実感できるようにすると、生徒の達成感につながり、読むことの自信にもつながります。また、読んだ感想や印象に残ったことなどを、振り返りシートに英語で記載するようにすると、英語を「書く」活動にもつながります。

参照 ▶p.8 松原市立松原第二中学校の取組み

(3) 研究協力校での取組み

各校では、学級や生徒の状況等に応じて、教員が工夫を積み重ねて研究を行いました。

活動の意義を生徒と共有 ～能勢町立西中学校～

多読の活動に入る前に、下記の資料を配付し、生徒に多読の方法やねらいについて説明した。

【多読をすると得られること】

- ☆英語に慣れる
- ☆文法を活用できるいい練習になる
- ☆生きた英語が身につく
- ☆単語力・文法力が付き、リーディング速度が上がる
- ☆実はリスニング力も上がる
- ☆英語をそのまま理解するので、英語の脳が作られる

英語にたくさん触れれば、無理に暗記をしなくても自然に英語は理解でき、書いたり話したりできるようになるよ。本をたくさん読むと、同じ表現に何度も出会うので、必ず意味が自分でわかるようになってくるよ。それってすごく素敵なことだよね!!!

注意!

レベルを上げ過ぎると、つまらなく感じてしまうよ。何週間後かに同じものを読んでもいいし、レベルを下げて、速く読めるように挑戦してもいいし、本は楽しく読めるものを選んでね。

【楽しく読めば英語力が上がる】

多読3原則

1. 辞書はひかない
2. わからなくなったら飛ばして次に進む
3. つまらなくなったら、その本は読むのをやめる

辞書をひいていると、話が中断しおもしろくなるね。もちろんときどきひいてもらってもいいけれど、辞書をひかなくても読める本を選ぶといいよ。

理解度は、60%で十分だよ!!! どんどん取り組んでいこうね!

【多読のいいところ】

- ☆楽しいからあきない
- ☆自分の好きな本が選べる
- ☆今までの英語学習に比べて10~100倍の英文に触れることができる

このことにより、生徒は多読の活動について目的意識を持ち、意欲的に取り組むことができた。

生徒が活用しやすい洋書の整備 ～能勢町立東中学校～

洋書の語数や難易度ごとに分類し、英語教室に配架した（難易度は語数や表現に応じて、発行社が設定しているもの）。

生徒が個人読みやペア読みをする際、自らの力や興味に応じて、洋書を選べるため、その後の読書活動に対して意欲的に取り組む姿が見られた。



個人読み活動の充実 ～大阪市立今宮中学校～



自分のペースや習熟段階に応じて読み進められるよう、個人読みの時間を充実させた。わからない単語はすぐに辞書で調べたり人に聞いたりするのではなく、推測して読み進めるよう促した。

英語を読むことが得意な生徒は、意欲的に何冊も読み進めていた。得意ではない生徒も、自分のペースで読めるため、あきらめず前向きに取り組んでいた。

振り返りシートの活用 ～松原市立松原第二中学校～

洋書を読んだ授業の終わりには、本のタイトルやレベル、感想等を記録させることにより、生徒が自らの活動を俯瞰したり、達成感を持てるようにした。

慣れるに伴い、英語で感想を書くことにもチャレンジするよう促し、書けた英文を全体に紹介するなどし、互いのがんばりを共有する場面を多く持つようにし、意欲の向上につなげた。

LET'S READ English BOOKS

No	Date	Title	How did you like the book?	Level
0	10/29	Winnie the Pooh	①初めてプーさんの本を読んだ。②楽しい場所だと知った。③わからない単語もあったけど、だいたいわかった。	1
1	10/26	The Big Egg	①子供は卵を集めて箱に入れて。②1人の子供がすごく大きな卵を見つけた。③卵を交換が楽しかった。	2
2	10/18	The Hole in the sand	①子供たちが穴を掘っていた。②大きいコマで掘ってお城のようになつた。③穴を掘りながら楽しかった。	2
3	10/30	Poor	①大抵病気になる。②子供が病気で。③病院に行かなくてはいけない。④悲しい。	2

ペア活動を生かした活動 ～和泉市立槇尾中学校～



自分で選択した洋書を個人で読んだ後、他の技能との統合を図った活動を行った。

たとえば、ペアの生徒に対して、話の内容が伝わるように読み聞かせをしたり、読んだ内容について英語で感想や概要を伝え合ったりするなどした。

洋書を用いた発展的な活動 ～柏原市立堅上中学校～

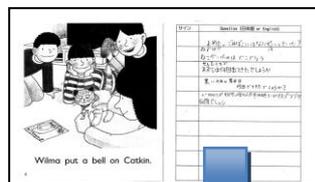
個人で読んだ洋書の中から1冊を選び、クラスメートに対し、読んだ内容が伝わるよう感情を込めて読み聞かせる活動を設定した。

生徒は、単に英語を読むだけではなく、登場人物によって声色を変えたり、状況をよりわかりやすく伝えるためにアドリブを入れたりするなど、工夫を凝らして読み聞かせていた。終了後には、肯定的評価を重視した相互評価を取り入れたため、読むことへの自信につながった。



目的を持って読めるような工夫 ～泉佐野市立長南中学校～

(※1)



(※2)

サイン	Question (日本語 or English)
	よめた。こみまごにはなにが書いていた? おみまご!!
	おこがいつの1.どこでしよう せんたくかか
	ネズミは何回出てきたでしょうか
	黒いおみの男女は 何回でてきたでしょうか?

洋書の最終ページ(※1)に質問シートを貼付しておき、読後に生徒が内容に関する質問を日本語または英語で書くようにした(※2)。質問以外に、「この後に何が起こったか」といった、想像を促す質問も可能とした。

質問シートを見た生徒は、これらの質問に答えるため、何度も洋書を読み返したり、次の質問文を作成するため、考えながら読むなどしていた。

(4) 研究協力校 教員の声

各中学校で研究を進めた結果、生徒・教員双方に、望ましい変化が見られました。

英語が苦手な生徒も、自分のレベルに合った洋書を読むことで、少しずつ読めるようになってきた。また、読めることで、生徒の英語への意欲が高まった。生徒は、英語を使って書いたり話したりすることに、少しずつ自信を持つようになった。

個々の文章が多少わからなくとも、話の流れやオチなど全体をつかもうとする読み方ができるようになってきた。普通の授業でも、まず辞書なしで教科書を読んでみようとする姿勢が見られてきた。

生徒が洋書を通して英語に慣れてきたと判断し、それまでは授業を日本語で行っていたが、思い切って英語で行うようにした。生徒は今では英語の指示や説明でもほぼ理解できている。教員が英語で授業を行うことで、生徒はさらに英語に触れる機会が増え、日本語を介さずに英語で理解することができつつある。

生徒の習熟度に合った絵本を教員が選び、一人読みをさせた。英語が苦手な生徒は自分のペースで読み、得意な生徒は意欲的に何冊も読み進めていた。また、定期テストにおける「外国語理解の能力」の分野では、初見のまとまった英文を読みとる問題を出題しているが、正答率の向上が見られた。

洋書を活用した活動を進めた結果、「読めた」ということが自信につながり、教科書等を用いた他の学習においても、積極的に取り組もうとする姿勢が見られるなど、波及効果も見られました。

このように、洋書の活用を軸に、各研究協力校において4技能を育成するための授業改善が進んだことは成果であると考えます。

